

# 令和4年度 市民意識調査の結果



詳細は仙北市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

問合せ 仙北市企画政策課 ☎43-1112



市民意識調査結果を公表するにあたり、田口市長から市民の皆様宛てのyoutube動画があります。スマートフォン等で右の二次元コードを読み取りご覧ください。



## 調査目的および実施概要

### (1) 調査の目的

仙北市を幸福度全国ナンバー1の都市とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

### (2) 調査の内容

1. 幸福度
2. 地域への愛着やあるべきまちの姿
3. 普段の活動や暮らし
4. 市の施策への満足度・重要度

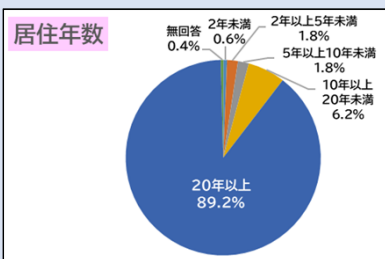
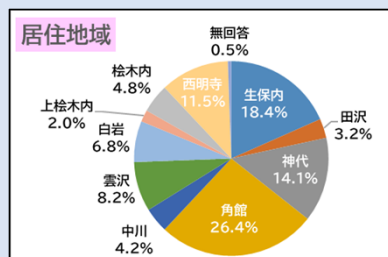
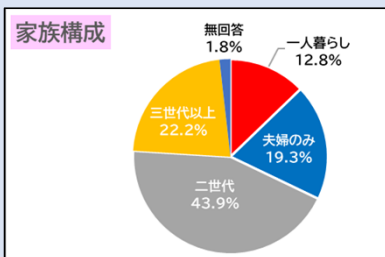
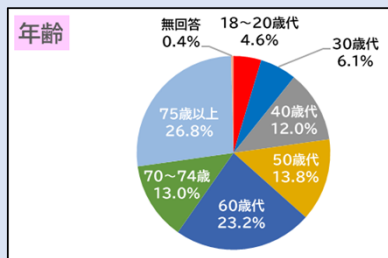
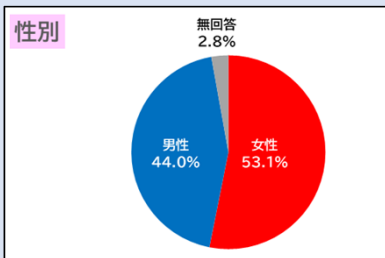
### (3) 調査の設計

1. 調査対象：令和4年3月31日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
2. 標本数：3,000人
3. 抽出用法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
4. 調査方法：郵送による調査票の配布および郵送による回答
5. 調査期間：令和4年7月6日(水)～7月22日(金)

### (4) 回収結果

1. 有効回答数：1,274人(有効回答率42.5%)

## 回答者について



※比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入するため、各回答の比率の合計が100%とならないこと(99.9%、100.1%など)があります。

調査票を年代別の地区別人口の構成比により配付したため、性別・年齢・居住地域は平均的な結果となっています。

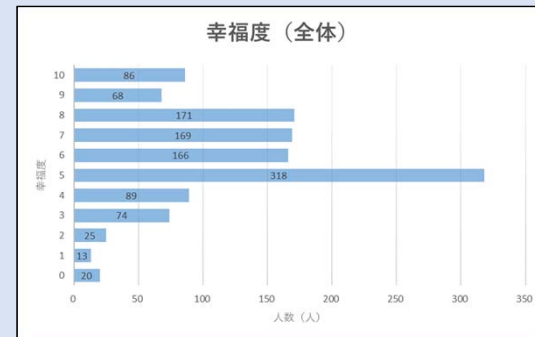
回答していただいた方の多くは、二世世代(43.9%)で生まれ、20年以上住んでいる方が多い結果(89.2%)となっています。

## 幸福度について

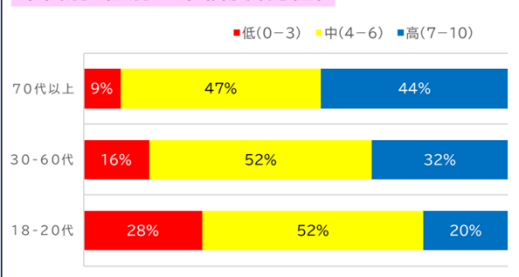
### ◆幸福度(0～10段階評価)について

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在の程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

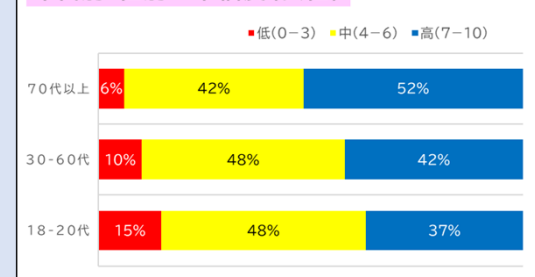
また、幸福度(0～10段階評価)の「0～3」を幸福度「低」、「4～6」を幸福度「中」、「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、男女共に年代が高くなるにつれ、その年代における幸福度「高」の割合が高くなっています。一方で、年代が若くなるにつれ、その年代における幸福度「低」の割合が高くなっています。



### 年代別・性別の幸福度(男性)



### 年代別・性別の幸福度(女性)



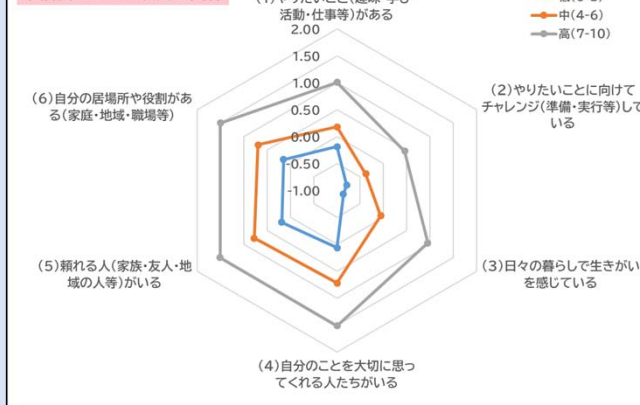
### ◆幸福感につながる6つの項目について

市では、「目標を持ち、やりたいことがある」や「日々の暮らしで生きがいを感じている」など、幸福感につながる6つの項目に着目し、これらができる(ある・いる)方を増やすことをめざしています。(右表の6つのまちのあるべき姿をご覧ください。)

### 【仙北市がめざす、6つのまちのあるべき姿】

- ① 目標を持ち、やりたいことがある人が多いまち
- ② やりたいことにチャレンジしている人が多いまち
- ③ 日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち
- ④ 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち
- ⑤ 頼れる人がいるまち
- ⑥ 自分の居場所や役割があるまち

### 幸福度と6つの項目の関係



### ◆6つの項目と幸福度の関係

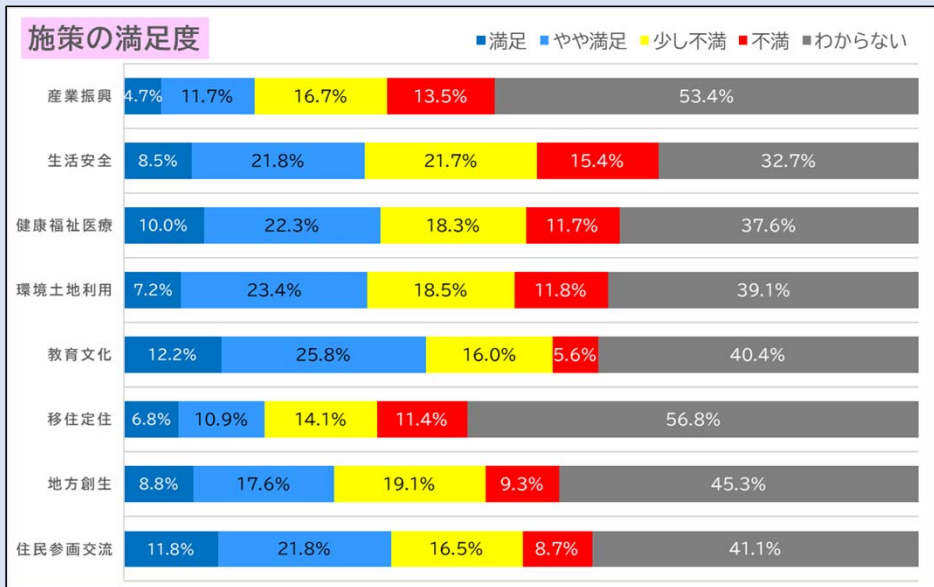
幸福感につながる6つの項目ができる(いる・ある)方の幸福度について分析したところ、6つの項目ができる(いる・ある)方ほど幸福度が高いという傾向がわかります。

※幸福度は幸福度(0～10段階評価)を「高」、「中」、「低」に分類したうえで分析しています。

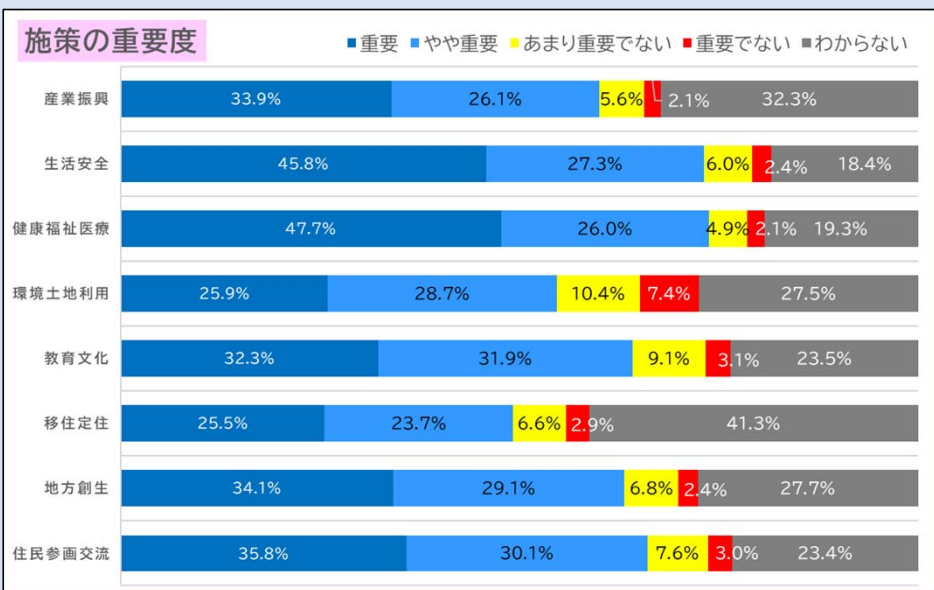
# 令和4年度 市民意識調査の結果

第2次仙北市総合計画基本計画(後期)で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度をお伺いし、8つの施策大綱別にまとめて集計分析しました。

## 施策の満足度と重要度

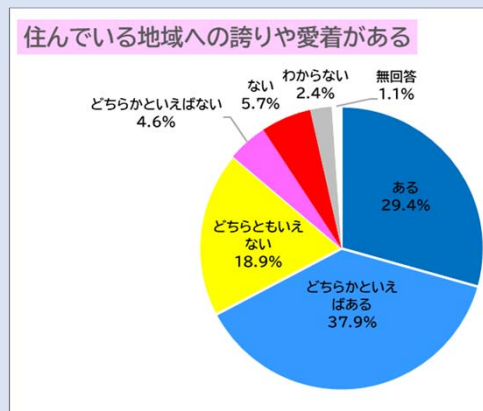


「教育文化」、「住民参画交流」、「健康福祉医療」分野の施策が比較的に満足度が高い一方で、「産業振興」や「移住定住」分野における施策に対しては、満足度が比較的低い結果となりました。

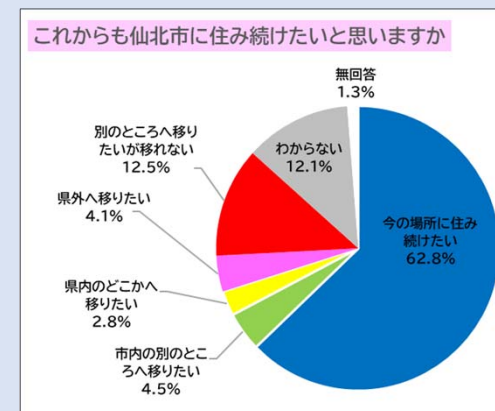


どの分野の施策においても重要であると答えている割合が5割を超えています。特に「健康福祉医療」や「生活安全」分野の施策が重要であるとの割合が高い結果となりました。

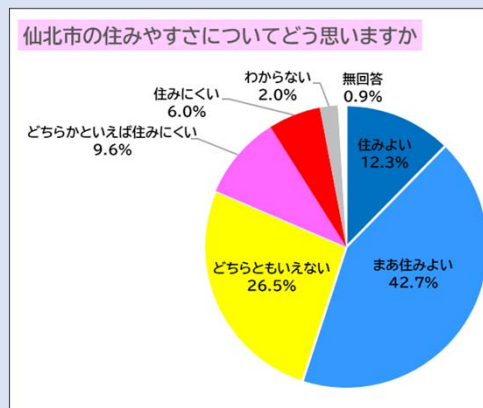
## 住んでいる地域への愛着など



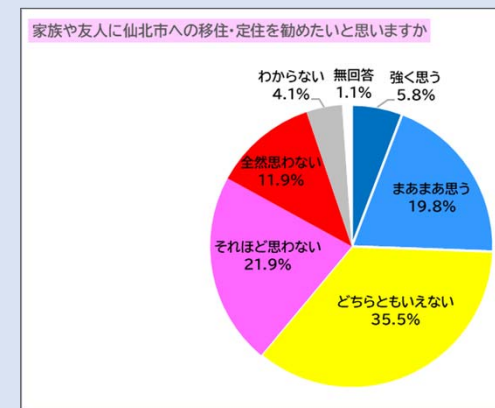
地域への誇りや愛着に対しては、「ある」、「どちらかといえばある」を合わせると67.9%となり、約7割の方がご自身が住んでいる地域に誇りや愛着をもっていることがわかります。



約6割の方がこれからも今の場所に住み続けたいと考えておられる一方で、約2割の方が今の場所から移りたいと考えておられることがわかります。



仙北市の住みやすさに対しては、「住みよい」、「まあ住みよい」を合わせると55.0%となり、約5割強の方が仙北市は住みよい場所であると考えておられることがわかります。



「強く思う」、「まあまあ思う」を合わせて25.6%の方が、ほかの市に住む友人やご家族に仙北市への移住や定住を勧めたいと考えておられることがわかります。